

2018年10月16日



～クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」運行開始 5周年～

「ななつ星」の旅を演出する新しいテーマ曲が生まれました

2013年10月15日に運行を開始しましたクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」は、この度おかげさまで5周年を迎えることができました。

これからもたくさんの皆さまに「新たな人生にめぐり逢う、旅。」をお届けしていくにあたり、新たに旅に寄り添うテーマ曲として、優しく美しい音楽が生まれました。皆さまの旅を豊かに彩り、想い出とともに心にいつまでも響く旋律となりましたら幸いです。

1 新テーマ曲について

曲名： 輝く星の贈り物～歓び（「ななつ星 in 九州」テーマ曲）

作曲： 光田健一 演奏： Violin水谷 晃 ・ Piano光田 健一

作曲をご担当いただきましたシンガーソングライター/ピアニストとしてご活躍の光田健一さんに、実際に「ななつ星」の旅を経て感じた想いや景色をもとに音楽をつくっていただきました。クラシック界で注目を集めるヴァイオリニスト水谷 晃さんとともにヴァイオリン、ピアノの二重奏が旅する歓び、心の躍動とドラマティックな出逢いを奏でます。

楽曲は短いモチーフと共に「輝く星のメロディー（テーマ）」「夢を乗せて（前奏&間奏）」「空から見てみたい」「森、海、谷、走る」「バラード in Night Cruise」「朝、野を駆ける」「優しい瞳」の7つのシーンで構成され、「ななつ星」の旅から見える感動を音楽で鮮やかに蘇らせます。

2 オリジナルCDについて

テーマ曲「輝く星の贈り物～歓び」とともに、テーマ曲のオーケストラバージョンや、公式イメージソング「ドアの向こう」など「ななつ星」オリジナルの4曲を収録したCDを発売いたします。

◆CDタイトル 「新たな人生にめぐり逢う、旅。」

◆収録曲（4曲）

- 1 輝く星の贈り物～歓び（「ななつ星 in 九州」テーマ曲）
- 2 輝く星への想い～遙か（「ななつ星 in 九州」テーマ曲 Orchestra Ver.）
- 3 ドアの向こう（「ななつ星 in 九州」イメージソング 二重奏 Ver.）
- 4 ドアの向こう（「ななつ星 in 九州」イメージソング Orchestra Ver.）

◆価格 2,000円（税込）

◆発売開始 2018年10月16日～ 公式通販サイト「ななつ星 Gallery」にて発売

<参考>

公式通販サイト「ななつ星 Gallery（オリジナルグッズ・セレクション）」

【インターネット】 [ななつ星 Gallery](http://nanatsuboshi-gallery.jp) 検索

（URL： <http://nanatsuboshi-gallery.jp>） [年中無休 24時間受付]

【フリーダイヤル】 TEL： 0120-772-962

[受付時間 10:00～18:00（火・木・金・土・日）] ※月・水・祝日は休業



作曲家・演奏者プロフィール

◆光田健一 Kenichi Mitsuda (作編曲家 / シンガーソングライター / ピアニスト)

東京芸術大学音楽学部作曲科入学と同時にプロ活動開始。石井竜也、池田綾子、岩崎宏美、江原啓之、渡辺真知子、渡辺美里の音楽監督・編曲・楽曲提供（作詞・作曲）を担当。魅力的な和声と対旋律の構築手法が音楽家の厚い信頼を受け、新日本フィルを始め、各地のオーケストラと多数競演。

小田和正「たしかなこと」「自己ベスト」「あの日 あの時」など多数の作品にコーラス参加。スターダスト・レビューのメンバーとしてキーボード、編曲を担当し、全国的に活躍。1995年、シンガーソングライターとしてソロデビュー以後、20作を超えるCD、DVD作品を発表。

RAG FAIRの音楽プロデューサー、AKB48楽曲の編曲者、世界に誇るプログレッシブ・ロックバンド「KENSU」のキーボーディストとしても知られる。アーティスト、作編曲家、プレイヤー、プロデューサーとマルチに活躍する一方で、近年は活動の原点である「作曲家」として、オーケストラや吹奏楽、室内楽作品など多数の委嘱作編曲も手がけている。

盟友チェリスト柏木広樹とデュオユニット「二人旅」として全国ツアーを毎年開催。2017年、アルバム「Partiendo」をリリース。四人組コーラスグループ「ザ・ハモーレ・エ・カンターレ（通称：ハモカン）」を率い、2018年、アルバム「ザッツ・ハモカナイズ！」リリース。

◆水谷 晃 Akira Mizutani (ヴァイオリニスト)

大分市生まれ。桐朋学園大学を首席で卒業。ヴァイオリンを小林健次氏、室内楽を原田幸一郎・毛利伯郎の各氏と東京クワルテットに師事。

在学中 Verus String Quartet を結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で第三位入賞。日本の弦楽四重奏団の入賞は東京クワルテット以来、38年ぶりの快挙となった。2010年4月より国内最年少のコンサートマスターとして群馬交響楽団コンサートマスターに就任。2012年、同団での活躍が評価され、第9回上毛芸術文化賞を受賞。

2013年4月より東京交響楽団コンサートマスター。

2018年6月よりオーケストラアンサンブル金沢客員コンサートマスターを兼任。

宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラに参加するなど、多方面にわたり活動している。

桐朋学園大学非常勤講師。使用楽器はヒノキ新薬株式会社から貸与されている、1783製 J.B. ガダニーニ。